

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いていますね。冷え込む休み時間は、温かい図書館で「心の栄養補給」をしませんか？

最終返却日おしらせ

1～2年返却日 3/9（月）

3年 返却日 2/27(金)

期限内に必ず返却してください。

蔵書点検中は入室できません

**2月16日（月）～20日（金）
蔵書点検を実施します。**

蔵書点検とは、図書館の本がきちんと館内にあるか、日本十進分類法に基づき正しい場所にあるか、破損している図書がないかなど、本の正しい所在や現況を確かめる大切な作業です。

全ての点検と、迷子になった本の調査が終了するまでは本を移動させることができません。1冊ずつデータをチェックしていく作業なので、何日もかかります。

1週間の間、図書館が利用できなくなります。
2/24（火）～開館再開予定です。

共感できるコミック



まんが

『聞き取りが苦手すぎる男子の日常』

「何度も聞き返すのは申し訳ない」「周りが騒がしいと声がぼやける」「聞き返すのが怖くて、つい分かったふりをしてしまう」音が聞こえているのに内容が理解しづらい著者の日常をコミカルに描いた本です。



話題のミステリー

『朝からブルマンの男』

推理合戦を楽しむ大学ミステリ研究会。かっこいいけれど、どこか不器用な大人たちが出会った5つの謎。解決したときの爽快感を楽しめるミステリー短編集。



913㍶

『近畿地方のある場所について』（文庫版）

ネットを震撼させたモキュメンタリー。実は文庫本は、単行本と内容が異なります！人物像にさらに焦点が当たり、怖さも「なるほど感」も倍増。単行本を読んだ人も必読です。



文庫セ

『変な地図』

地図をじっと見ていると、何かがおかしい。そこには、あってはならない「違和感」が隠されていた。覆面ホラー作家『雨穴』の『変な』シリーズ「変な家」「変な絵」「変な家②」に続く4冊目！



913ウ

『8番出口』

世界的大ヒットしたあの伝説の脱出ゲームが小説になった。地下通路という閉鎖的な空間の中で、行か引き返すかの無限の2択を繰り返す。異変を見逃さず、出口へ辿り着けるか……。



文庫力

ほっこりする物語



『うるさいこの音の全部』高瀬 隼子

テーマは「作家デビュー」。ゲームセンターで働きながら小説を書いている主人公。自分の内側からあふれる声と、外側から聞こえる「うるさい」世間の声。自分の「好き」を貫くことの難しさと強さを描いた、いまの10代に刺さる一冊です。



913㍶

『チョコレート・ピース』青山 美智子

心に小さなトゲが刺さったようなとき、この本を開いてみてください。1粒のチョコレートのように甘く、時にはほろ苦い連作短編集。人生の小さな曲がり角で、そっと背中を押してくれる、チョコエピソード。



913ア

『麦本三步の好きなもの』住野 よる

主人公の三步は、ちょっとドジで、食べることが大好きで、ぼーっとするのが得意な図書館員。彼女のゆるやかな日常をのぞき見しているうちに、「自分も自分のままでいいんだ」と肩の荷が下りる一冊です。



913ス